

人・社会・暮らし



しごとば

鈴木のりたけ／作

ブロンズ新社 2009年 1700円

美容師、新幹線運転士、パティシエなど子どもに人気の9つの職業を、仕事の場所、使う道具、仕事の流れなど細かく丁寧なイラストで紹介した絵本です。

(参考図書)

『しごとば 続』

鈴木のりたけ／作

ブロンズ新社 2010年 1700円



手で食べる? (たくさんのふしぎ傑作集)

森枝卓士／文・写真

福音館書店 2005年 1300円

私たちは箸を使ってご飯を食べますが、手で食べる国もあります。国によって食事の仕方は様々です。それは、長い時間をかけて工夫してきた「文化」です。いろいろな国の暮らしぶりを、料理や食事の道具、食べ方などを通して紹介する写真絵本です。



エンザロ村のかまど (たくさんのふしぎ傑作集)

さくまゆみこ／文

沢田としき／絵

福音館書店 2009年 1300円

ケニアのエンザロ村に日本人女性が「かまど」と「ぞうり」の作り方を紹介しました。少ない燃料で調理ができ、生水を飲まなくなったおかげで赤ちゃんの死亡率が低下しました。また、病気になる人も減りました。アフリカで日本の伝統的な生活の知恵が役立ち、広がっています。



エジプトのミイラ

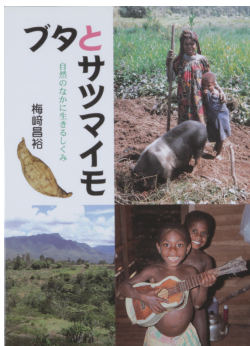
アリキ・ブランデンバーグ／文と絵

神鳥統夫／訳

佐倉朔／監修

あすなろ書房 2000年 1400円

古代エジプトの人たちがミイラをつくった理由や、ミイラのつくり方を、イラストと文章で丁寧に紹介しています。古代人の技術の高さと、死後の世界への思いの深さを知ることができる絵本です。



ブタとサツマイモ 自然のなかに生きるしくみ (自然とともに)

梅崎昌裕／著

小峰書店 2007年 1500円

パプアニューギニアの山奥に、ブタを飼い、サツマイモを主食として自給自足の生活をしている村があります。著者はその村で彼らと生活を共にし、「人間の生きるしくみ」を調べました。



世界を動かした 塩の物語

マーク・カーランスキー／文

S・D・シンドラー／絵

遠藤育枝／訳

BL出版 2008年 1600円

人間だけでなく、すべての哺乳類が生きていくために必要不可欠な塩。現代の私たちは、安価で簡単に入手することができますが、塩の歴史を探っていくと、まさに世界を動かしてきたとても貴重なものだったことがわかってきます。

(参考図書)

『世界をかえた魚 タラの物語』

マーク・カーランスキー／文 S・Dシンドラー／絵 遠藤育枝／訳

BL出版 2004年 1500円



『訓蒙窮理図解』 第一章「湿気の事」より